同志社大学フォーミュラプロジェクト
支援者様

令和7年 3 月 20 日

同志社大学フォーミュラプロジェクト
2 月活動報告

謹啓 啓蟄の候、皆様におかれましては、ますますのご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご支援、ご配慮を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度は同志社大学フォーミュラプロジェクト（以下 DUFP）の 2 月の活動についてご報告させていただきたく存じます。

当プロジェクトは、スポンサー企業様・個人支援者様、先生方、OBOG の皆様方の寛大なご支援、並びにご協力により活動を進めさせていただいております。多大なるご支援を快くしてくださいます皆様方に深く御礼申し上げます。

現在は、今年度の大会でより良い成績を得られる車両製作に向け、設計を行っております。今後とも何卒、当プロジェクトをよろしくお願い申し上げます。

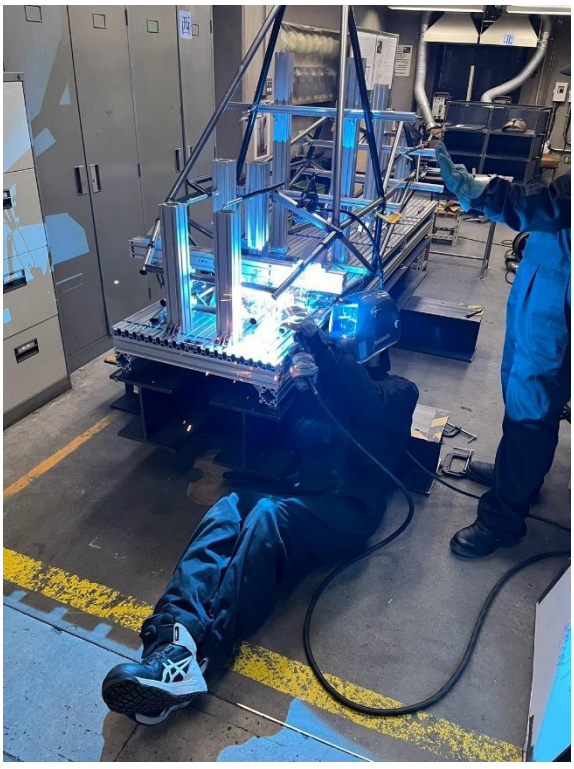


図 1.製作の様子

D.U.F.P

Doshisha University Formula Project

1．スポンサー様



図2.スポンサー様

小泉製作所様

小泉製作所様よりFH、MHに用いる曲げパイプの支援をしていただきました。ご支援していただいた曲げパイプは今年度の車両の重要な骨格の一部として使わせていただきます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。
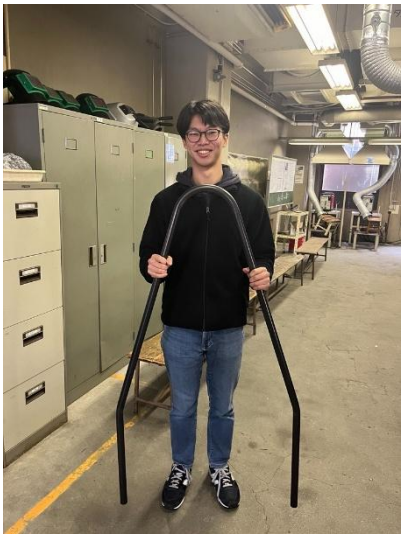


図3. ご支援いただいた曲げパイプ

株式会社神戸製鋼所様

株式会社神戸製鋼所様よりアルミ素材をご支援賜りました。本年度もご支援いただき心より感謝申し上げます。



図4. ご支援いただいたアルミ素材

住友電装株式会社様

住友電装株式会社様よりメインハーネス用の配線やコルゲートチューブ、コネクタ類などを無償で支援していただきました。住友電装株式会社様、今年度も手厚いご支援心より感謝申し上げます。



図5. ご支援いただいた配線やコルゲートチューブ、コネクタ類

株式会社江沼チエン製作所様

株式会社江沼チエン製作所様よりローラーチェーンとカシメジョイントのご支援をいただきました。今年度も手厚いご支援心より感謝申し上げます。



図6. ご支援いただいたローラーチェーンとカシメジョイント

株式会社キョウシャー様

エンジン架台製作にあたり、株式会社キョウシャー様よりレーザーカット加工をしていただきました。株式会社キョウシャー様には迅速かつ丁寧にご対応いただき、スムーズに作業を進めることができました。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



図7. ご支援いただいた加工品の受け渡しの様子

ヤマハモーターハイドロリックシステム株式会社様

ダンパーのオーバーホールと減衰力の測定を行っていただきました。当プロジェクトへの厚いご支援に感謝申し上げます。



図8. ご支援品

協和工業株式会社様

協和工業株式会社様より、ステアリングジョイントをご支援いただきました。ご支援いただいた ステアリングジョイントは本年度車両に使用させていただきます。当プロジェクトへの温かいご支援、誠にありがとうございます。



図9. ご支援いただいたステアリングジョイント

林精工株式会社

林精工株式会社様より、スペーサーの材料・加工支援をしていただきました。非常に多くのオーダーを迅速かつ丁寧にご対応いただき、誠にありがとうございます。また、精密かつ高精度な切削加工により、車両剛性の向上や軽量化に大きく寄与できると考えております。改めて、当プロジェクトへの温かいご支援に感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



図10. ご支援いただいたスペーサー

株式会社サイアン様

株式会社サイアン様より、ストロークセンサーを協賛価格でご支援いただきました。ご支援いただいたストロークセンサーは、走行時の計測に活用させていただきます。温かいご支援に心より感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



図11. ご支援いただいたストロークセンサー

積水化成品工業株式会社

積水化成品工業株式会社様にフォーマックをご支援いただきました。ご支援いただきましたフォーマックは翼端板とアンパネの芯材として2月のエアロ班の製作時に使用させていただきたく存じます。エアロ班一同使用することを楽しみにしております。ご支援に心から感謝いたします。



図12. ご支援いただいたフォーマック

株式会社 APJ

新たに株式会社 APJ 様よりラジエーターファンを協賛価格にて提供していただきました。今年度の冷却系統に使用させていただきます。この度はご支援いただき誠にありがとうございました。今後ともよろしくお願い申し上げます。



図13. ご支援いただいたラジエーターファン

株式会社上野鉄鋼様

株式会社上野鉄鋼様より車両の骨格となるパイプのレーザカットを協賛価格にて支援していただきました。本年度もご支援いただき心より感謝申し上げます。 今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



図14. ご支援いただいたパイプ

2. 活動報告

静的審査資料作成状況

コスト審査資料につきましては、例年1月から3月にかけて図面の作成を行っております。今年度は、2月中にほとんどの図面の作成を完了いたしました。現在は、FCA 及び製造工程の作成を進めております。デザイン審査につきましては、草案の作成を進めております。

車両製作進捗状況

フレーム班

本年度も昨年度と同様にH鋼を設置し、フレームを予定通りに製作致しました。現在は他班のマウント類の溶接を進めております。また 3 月中にはドライバー保護関係のパーツを他班との連携をとりつつ、製作を完了する予定です。

エンジン班

他班と同様にコストの図面を製作しました。また、エンジンベンチ用のエンジン架台の製作が完了しエンジンベンチの測定試験を毎日行っております。エンジンパーツについては、吸気、排気、冷却、潤滑、燃料系のパーツも順次発注、製作をしております。

電装班

3 月のハーネス製作に向けて備品を発注しました。また、昨年度に引き続き 1 回生にもハーネス作りを経験してもらうため、予備ハーネスの製作をしています。さらに、今年度から計測班を発足し、実測にも力を入れています。信頼性あるハーネス製作、計測を目指し引き続き製作を進めて参ります。

ドライブトレイン班

マウント類とロッド類の図面作成と製作、また車両パーツの発注を行いました。3月は引き継ぎマウント類とロッド類の製作を予定です。

サスペンション班

アーム類、ベルクランク類、スタビライザーは予定通り完成いたしました。3月中に、レーザーカットで依頼したマウント類をフレームに現物合わせする予定です。

エアロ班

新しく導入した 3D プリンターを用いて型の製作を行っております。3 月は型の積層準備や、翼端板等のコンポジットパネルの製作を行なって行きます。

アップライト・ハブ班

予定通りアップライト•ハブとベアリング、シム等付属パーツを全て発注、加工中であり、学内製作のブラケットは完成いたしました。3 月のサスペンション溶接、アルマイト加工にむけ、引き継き、スケジューリングを進めてまいります。

エルゴノミクス班

新規導入のラックアンドピニオンを納品し、ステアリングコラム•シャフトやステアリングホイール、ペダル等の製作も予定通り進めております。3 月のステアリング、ペダル溶接に向け引き続き製作を続けてまいります。

3. 今後の活動予定

3 月3日フレーム完成

3月 19 日自立

4月 13 日シェイクダウン

4. 最後に

製作期間に突入し、一か月が経過いたしました。週例ミーティングでは、これまで以上に、入念にチーム全体で製作スケジュールと各班の進捗の確認を行っております。3月19日に予定しております車両の自立、4月13日に予定しておりますシェイクダウンに向けて、各班、製作及び発注を進めてまいります。

スポンサー企業様はじめ、個人支援者様、先生方、OBOG の皆様方、ご支援・ご協力くださる皆様方に心より感謝申し上げます。2025 年度大会に向け、より良い車両の設計・製作に尽力いたしますので、今後とも何卒よろしくお願いいたします。

文責
同志社大学フォーミュラプロジェクト（DUFP）
25project 総務部長・エンジン担当

岩下 莉緒 （Rio Iwashita）

〒610−0394
京都府京田辺市多々羅都谷 1−3 同志社大学

MAIL(チーム)：18dufp@gmail.com
MAIL(エンジン班):dufpengine@gmail.com
MAIL(個人)cguj4028@mail4.doshisha.ac.jp
ホームページ：http://dufp.racing/

D.U.F.P

Doshisha University Formula Project